



「国体近畿ブロック大会」結果報告

8月15日(土)・16日(日)に、大阪万博記念公園弓道場において「第70回国民体育大会近畿ブロック大会」が行われました。本校からは、少年男子チームの一員として前田が出場しました。また、本校弓道部員4人が補助員として大会のお手伝いをさせていただきました。

■8月15日(土) 公開練習・開会式

4人の補助員を引率して午前7時50分に会場入り。すぐに役割の説明等があり準備にかかりました。午前8時過ぎから各府県の代表チームが続々と会場入り。9時より15時まで遠的・近的に分かれての公開練習。前田を含む大阪の少年男子チームもじっくり調整していました。4人の補助員は、的中確認や矢取りなどで休むまもなく頑張っていました。16時より開会式。前田が一応少年男子チームの主将なので、大阪の一番前の目立つところに立っていました。開会式後、大阪の少年男子・女子チームは、場所を変えて練習するためにすぐに移動しました。4人の補助員は、後片付け等のお手伝いのあと、17時過ぎに終了、帰路につきました。



補助員として頑張りました。



開会式



大阪少年男子チーム



■8月16日(日) 公式練習・競技

補助員は昨日よりも早い7時20分に会場入り、準備にかかりました。大会は遠的・近的の順番で行われ、各競技の順位を得点化して、遠的、近的の合計点で総合順位を決定します。少年男子・女子は近畿から2チームが本国体に出場できますが、今年度は和歌山国体のため、和歌山県にすでに出場枠が与えられています。そのため今回は、和歌山県を除く残り1チームしか出場できません。

まずは遠的からです。国体の遠的は、通常的中制ではなく、得点制で行われます。少年男子は、和歌山県が1立目80点、2立目60点、合計140点で他府県を圧倒して1位となりました。2位に兵庫県、大阪は苦手の遠的(前田を含め、大阪の選手はほとんど遠的の練習をしたことがありません。)で、1立目58点、2立目42点、合計100点の5位と惨敗しました。その中で前田は3人のなかでは最高得点を出すなど頑張りを見せました。続く近的は、兵庫県が前評判通りの強さを発揮し、2立合計21中で1位となりました。大阪は、前田が5中と的中が伸びませんでした。他の2人が6中、7中と頑張りを、合計18中で2位に入りました。しかし、総合順位は、1位兵庫県、2位和歌山県、3位大阪府となり、惜しくも本国体への出場権を獲得することができませんでした。しかし、総合3位という結

果は、大健闘と言っていいと思います。3人ともよく頑張った！

少年女子は、遠的4位とこちらも出遅れましたが、近的で堂々の1位！ 総合順位で和歌山県に次ぐ2位となり、見事本国体への出場権を獲得しました。おめでとうございます。！



総合3位の表彰 主将の前田が
賞状を受け取りました。

女子チームのみなさん
国体頑張ってください！



EISHI



人生における大きな喜びは、「君にはできない」
と世間が言うことをやってのけることである。